スキー教室へどうぞ

初・中・上級別に講習会

白銀は招く：楽しいスキーシーズンがやって来ました。すでにスキーをかついだ若者が、電車の中や駅でみかけられるようになりました。市体育協会は、昨年にひき続き、市民のためのスキー教室をひらきます。初めての人、より高度な技術を身につけようとする人、友だちあるいは家族づれでどうぞ早めに申込んでください。

今回は粟川、赤倉の二スキー場で三回の講習会がもたれます。粟川は日帰りコース、赤倉は一泊二日コースです。現地では、各日本スキー連盟公認の指導員が指導にあたります。

◎コース・経費　表のとおりです。大人は中学生以上とします。

〈粟川コース〉
◎集合時間　午前七時五十分
◎集合場所　新潟駅・団体待合室
◎出発時間　午前八時二十分
◎帰着時間　午後六時四十五分

〈赤倉コース〉
◎集合時間　午前七時
◎集合場所　県総合陸上競技場正面
◎出発時間　午前七時三十分
◎帰着時間　午後七時三十分頃

◎参加資格　スキーを愛好する市民のかたならどなたでもどうぞ。
◎内容　各コースとも、初級・中級・上級の各クラスに編成し、講習を行ないます。講習料は無料です。
◎指導者　全日本スキー連盟公認指導員
◎申込み方法　各コースとも、申込み締切り日までに経費を添えて申込んでください。なお申込み締切り日以後の取り消しは認めません。
◎申込み先　市内一番堀通りニノ一、県営陸上競技場内　新潟市体育協会　スキー教室係（☎66—八二一一）へどうぞ。

期日	コース	経費（含交通宿泊費）	申込締切日	募集人員	交通機関
1月21日(日)（日帰り）	津川	大人 680円	1月16日(月)	150名	鉄道（急行あがの1号）
		小人 340円			
2月3.4日(土)(日)（1泊2日）	赤倉	大人 4,200円	1月29日(月)	50名	デラックスバス
		小人 3,800円			
2月18日(日)（日帰り）	津川	大人 680円	2月12日(月)	150名	鉄道（急行あがの1号）
		小人 340円			

指導員の説明を熱心に聞き慎重に滑る市民の方々

国民年金の掛金が所得税の控除対象

ことしの一月一日から十二月三十一日までの期間に社会保険料として支払いになった国民年金保険料は所得税の控除対象になります。

給与所得者の方は十二月に行なわれる年末調整の際に必ず勤務先で控除の手続きをしてください。手続きを忘れて控除を受けられなかった方が毎年かなりいます。

なお、事業所得者の場合の控除手続きは三月の確定申告時に行なってください。控除される額は要のとおり保険料の納入額、加入時によってそれぞれ違っています。

保険料の区分		控除額	期間
定額	1月～6月(月額) 450円 7月～12月(月額) 550円	6,000円	1年
所得比例（加算年金）	1月～6月(月額) 800円 7月～12月(月額) 900円	10,200円	1年
5年年金	(月額) 750円	9,000円	1年

※過年度（過去）の保険料を納入した場合は納入額が控除額となります。
※納入証明書は申告の際添付しなくともよいことになっておりますので発行いたしません。

直接撮影で障害回避

「先天性股関節脱臼検診の意義と X線障害の問題」と題して二度目が、新潟大学医学部整形外科教授・田島達也氏から寄せられましたのでご紹介します。

新潟大学医学部
整形外科教授
田島達也

最近薬の副作用や特定の物質による公害が、大きな社会的関心の的になっています。その中で X線撮影の際、生殖腺が照射されることによって、遺伝子に影響を与える可能性に関心が持たれるようになってきました。それは、短期間で世代を重ねることの出来る小動物に放射線をかける実験によって、遺伝子が変化する可能性が指摘されたためです。

一方、先天性股関節脱臼、またはそれに近い状態（亜脱臼）は、日本人の女児には、比較的多くみられる疾患です。これに対しては、生後遅くとも半年以内に発見し、適切な専門的治療を加えない限り、完全に股関節が機能障害（不具）を残すことになります。

それは、短期間で世代を重ねることの出来る小動物に放射線をかける実験によって、遺伝子が変化する可能性が指摘されたためです。

一方、先天性股関節脱臼、またはそれに近い状態（亜脱臼）は、日本人の女児には、比較的多くみられる疾患です。これに対しては、生後遅くとも半年以内に発見し、適切な専門的治療を加えない限り、完全に股関節が機能障害（不具）を残すことになります。

股関節検診はX線撮影

発見率高く、見逃しもない

私ども整形外科医としては、これまで数多くみてきたこのような不幸な患者を出来るだけ無くするために、最大の努力を傾けたいと考えるわけです。

そこで、大学医学部の所在地のように整形外科医の密度の高いところでは、早期発見、早期治療の目的で県や市町村、特に保健所の協力を得て検診を実施しているのが実状です。

特に、宮城県では「無脱臼地区」をめざして、強力な運動が展開し、著しい成果をあげて、昭和四十五年度に保健文化賞を受与されているほどです。

検診はX線撮影で

ところで、検診の方法については、どこでも全員に股関節の X線撮影を行っています。ここで、X線検査のような一種の精密検査は専門医がまず診察し、診断のむずかしい者だけに実施すれば良いのではないかという意見を持つ方もありましょう。しかし、診察のみでは、診断できない例が多いのです。

亜脱臼や臼蓋成不全のように検診時、程度の軽いものでは、診察には全く異常が認められず、一方開排制限のように脱臼を疑わせる所見も余りるようになります。

実際、新潟地域でも、昭和四十六年四月以前診察によって疑わしい乳児のみX線検査したことがありますが、検診児二千五百四十八人に対し、先天脱臼・亜脱臼は十四人（〇・四％）しか発見できず、検診時異常なしといわれ、母親も安心していたところ、歩き出すようになって"びっこ"が現われたから、先天脱臼と判明した患者が何人もいます。

こうなると、母親は、検診の無責任さをうらむことになります。そこで、検診する以上、一人も見逃さないようにせねばなりません。同時に、X線障害を避けることも必要です。それには、線量が少なく済む直接撮影を実施することが、一番実際的な方法です。

このようにしてみると、検診時三千二百五十三人に対し、先天脱臼・亜脱臼児は七十一人（二・二％）と発病率が高く、さらに重要なことは、一例の見逃しもないことです。

生殖腺の防禦は確実に

以上で、この疾患の検診にX線撮影が不可欠な理由をご理解いただけたと考えます。ただ、この際考慮すべきことは、生殖腺の防禦です。

たしかに、乳児は撮影の時に泣きさけび、体を興奮的に激く動かすのが常です。

そこで、検診する以上、一人も見逃さないようにせねばなりません。同時に、X線障害を避けることも必要です。それには、線量が少なく済む直接撮影を実施することが、一番実際的な方法です。

このようにしてみると、検診児